

あなたの

ふくし応援団

させば

社協だより

Vol.

124

2025年

1月

暑いけど
がんばってね～

ありがとうございます

contents

新年のあいさつ	P 2
特集 つながるCaféプロジェクト	P 3
「つながる農園」の軌跡	P 4
活動報告	P 6
お知らせ	P 7
善意のご芳志ありがとうございました	P 8

新年のごあいさつ



新年、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては希望も新たに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本会の運営・事業の推進につきまして、深いご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。さて、近年変化する社会・経済情勢により、社会福祉協議会には、複雑・複合化した課題を受け止め、その解決に向けた支援と行動が求められています。

また、昨年元日に石川県を中心とする能登半島地震が発生しましたが、近年多発する自然災害に備えるために、日頃から住民同士のつながりを推進することの大切さを改めて認識しました。

本会も、昨年4月よりスタートいたしました「第4期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画」により、複雑・複合化した福祉課題に対応していけるよう、地域の皆様、関係機関・団体との連携を図りながら、職員一丸となり地域福祉の向上に努めてまいりますので、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多い年でありますよう心よりご祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

会長 深江 海人

赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございました

令和6年10月1日から令和6年12月31日まで、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が行われました。

運動開始日には島瀬公園前において宮島市長並びに須佐保育園の皆さんによる呼びかけを行いました。運動期間中には佐世保市民生委員児童委員の皆様による街頭募金活動を行いました。街頭募金には、佐世保工業高等専門学校や社協職員家族も飛び入りで参加されるなど多くの皆様のおかげで充実した募金活動を行うことができました。ご協力いただきました市民の皆様へお礼申し上げます。

皆様からいただきましたご厚意は、生活困窮者の支援や福祉施設への助成など、地域福祉を推進するための事業に有効に活用させていただきます。





つながるCafé プロジェクト

社会福祉協議会は、地域の方々と組織した「つながる Café プロジェクト」の皆様と共に、地域の中の「居場所」「たまり場」として、人と人が交流し多様な価値観を感じることができる“コミュニティカフェ”のオープンに向けて準備をすすめてきました。

どなたでも気軽に参加することができるカフェです。ぜひ、多くの皆様のご来店を心よりお待ちしております。

2025年1月オープン予定



▲鹿町地区「旧かわさき薬局1階」

コミュニティカフェに期待される機能と効果

地域とつながる きっかけ

普段は地域行事への参加が少ない住民が、地域活動を知ったり、地域行事に参加するきっかけが見つかります。

知り合い、 そして支え合いへ

顔の見える関係ができ、普段から気にかけて、困った時に助け合えるような人と人のつながりが生まれます。

身近な居場所へ

孤立しがちな高齢者、障がいのある方、介護者、子育て世帯、子どもなど様々な人にとって人や地域とつながりを持てる場となります。

生きがいきづくり、 役割づくり

元気な高齢者をはじめ、いろいろな人がいきいきと活躍できるような「生きがいと健康づくりの場」「地域貢献の場」となります。

地域住民参加型のカフェづくりをめざして

プロジェクト会議では、訪れた方々にとって居心地の良い環境となるよう話し合いを重ねてきました。このカフェでは、各種ミニ講座やミニ演奏会などのイベントにもご利用が可能です。

またキッズスペースも設けてあり、小さいお子様とご一緒にゆつくりとくつろぐことができるようになっています。



カフェに設置するスタンドは、佐世保工業高等学校建築科の課題研究授業の一環として生徒の皆さんに制作していただき、カフェスタンドのほかにもロゴマークのデザインなど、たくさんのアイデアを出していただきました。

また、ご自宅に眠っている贈答品など使用していないコーヒーカップをご提供いただくことでリユース品の活用を取り入れた、「住民参加型のカフェづくり」を進めています。



詳細につきましては、公式ホームページや、SNSでチェックしてください。



佐世保市消防局西消防署江迎鹿町出張所 コココミュニティカフェ「ぱずる&び〜す」



“つながる農園”の軌跡

“つながり・教え・学び合える”居場所として、米作り体験を通じて、あらゆる世代が交流し、それぞれが役割を持つことを目的に取り組んで来たお米作り。

アイガモ農法によるお米作りは初めての取組みでしたが、多くの皆さんの協力をいただきながら進め、すくすく成長していくアイガモは参加者のみならず、地域の方々の癒しの存在となりました。

令和6年6月から11月にかけて「つながる農園」プロジェクトにご参加いただいた皆さんとの活動の記録をお伝えします。



田植え体験 令和6年6月1日(土)

プロジェクト第一弾として田植え体験を行いました。

地元の農業経験者の指導のもと、手作業で丁寧に苗を植えていきました。お昼休憩の後は、参加者同士の親睦を深めるためにレクリエーションを実施しました。



内容は、懐かしく感じる方もいらっしゃるかもしれない「くつ飛ばし」です。田植え体験での疲れを感じさせないくらい、子ども達はもちろんのこと、保護者の皆さんも童心に戻り、大自然の中に歓声が響き渡りました。



「つながる」講演会 令和6年9月29日(日)

吉井地区コミュニティセンターにおいて「つながる」講演会を開催しました。

棚田の景色を未来に残すため様々な活動を通じて、棚田に人々が集まるコミュニティづくりなどの活動を実践されている「株式会社ミライステラス」代表の前



田晴郎氏より「つながることの大切さ～人とのつながりが心を豊かにする～」をテーマにご講演いただきました。

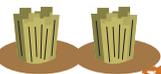
つながる農園の参加者以外にも、多くの地域の皆さんにご参加いただき、“支え合いや助け合いが大切だと思った”など前向きな意見を聞くことができました。



稲刈り体験 令和6年10月6日(日)

朝からあいにくの雨模様でしたが、稲刈りを始めると同時に太陽が顔をのぞかせ、すがすがしい秋晴れの中で力を合わせて稲を刈りました。刈った稲はひもで括り、天日干しするために組まれた竹に干していきました。

作業は皆さんの集中力で、予定していた時刻よりも早く終わり、昼食をとった後はレクリエーション「大声大会」をして楽しく過ごしました。



収穫祭 令和6年11月10日(日)



世知原少年自然の家・キャンプ場において収穫祭を行いました。当日は、世知原地区で活躍されている「食事サービスボランティアわかば会」の皆さんにご協力いただき、収穫したお米でのおにぎりや、それに合わせた豚汁づくりに挑戦し、皆で美味しくいただきました。

かまどでの火起こし体験からはじまり、親子で豚汁の材料を切ったり、飯盒での炊飯など日頃味わうことができない体験をしました。

プロジェクトメンバーでもある地元農家さんから、立派なお米ができていと賞賛をいただいたときは参加者一同嬉しい気持ちになりました。



参加者の方にインタビュー！

A1. コロナ禍で子どもが思い出に残るような体験ができず、タウン誌に(つながる農園の記事が)載っていたので参加をさせていただきました。

A2. とても楽しかったです。自分が子どもの時に経験できたことを子どもたちも経験させてもらい、これからも(こういったイベントに)参加していきたいと思いました。

Q1. 参加を決めた理由 **Q2.** 参加してみた感想

A1. タウン誌を見て、お米作りの体験を子どもたちに(自分もですが)体験してほしいと考えました。今まで田植えなどを行ったことがなく、子どもたちと一緒にしたら楽しいだろうと思い応募しました。

A2. 子どもたちの目がキラキラしていました。色々な体験ができて楽しかったです。

教わったことを習得し、自ら考えて行動に移す子どもたちの姿はたくましく、周りの大人にパワーを与えてくれました。

プロジェクトを通して築かれた“つながり”は、これからも続いていくものと感じました。





第5回ふれあいいきいきサロンバグー交流大会

令和6年11月8日（金）、社会福祉協議会会長杯ふれあいいきいきサロン・バグー交流大会の本大会を行いました。

参加チームは総勢65サロン、応援に来てくださった方も含めるとおよそ300名の方が参加され、予選から本戦まで大盛り上がりの大会となりました。

参加された皆さんは全力投球！普段交流の機会の少ない他の地区のサロン間での会話も弾み、人とのつながりが多いの場面で見られました。



優勝「松山町にここサロン(山手地区)」

佐世保市内には令和6年11月時点で293のサロンが活動されています。お住いの地区の公民館やコミュニティセンターなどで実施日程を決め、レクリエーションや茶話会など楽しい時間を過ごされています。

ご興味がありましたら、社会福祉協議会にご一報いただけますと、お近くのサロンをご紹介しますことなども可能です。



福祉の広場 in コミフェスこさざ

令和6年11月17日（日）に開催された「コミフェスこさざ」において、今年で3回目となる小佐々地区福祉推進協議会主催「福祉の広場」が行われました。

毎年、長蛇の列ができる「野菜販売」では「つながる農園」でできたお米も販売してもらいました。また、子ども達に人気のあるバルーンアートのほかにも、株式会社西九州パリガンによる「福祉介護体験」や、そうごう薬局小佐々店の「薬にまつわる〇×クイズ」などの各コーナーも多くの人でにぎわっていました。

相浦地域包括支援センターと佐世保歯科医師会そしやくの協力による「健口相談」では、“咀嚼ガム”を使ったお口の中の簡単チェックや、今回新たに設けた「アクセサリーづくり」では、多くの親子がオリジナルのアクセサリーづくりを楽しまれました。



イベントの最後はビンゴゲームです。賞品を手
に喜ぶ参加者の笑顔と歓声に会場が包まれ、大盛況のうちに終了しました。

社会福祉協議会は、「地域住民の交流の場」づくりを推進しています。





“見えない世界”を見てみよう!! NIUキッズキャンパス出前講座

11月9日（土）、長崎国際大学で開催されました「NIUキッズキャンパス子ども版長崎国際大学公開講座」にて講座を行いました。

「“見えない”世界を見てみよう!!～見えなくてもできることってなんだろう?～」をテーマに、メガネ2種類（視野狭窄・白濁）を自分たちで作り、文字の読み書きやカルタを行い、見え方の違いを体験しました。



親子で協力して体験することで、コミュニケーションの大切さや自分たちができる支え合いや助け合いに気づき、自分とは異なる特性をもった人たちとも楽しく生活することで、自分にできることは何か、心のバリアフリーとは何かを考える機会となったのではないのでしょうか。

お知らせ

Notice

第23回 羽ばたけ 児童センターまつり

佐世保市内9館の児童センターが合同で、幼児や小学生向けの手作り体験型ゲームや工作、アクセサリ作り、音楽体験、駄菓子屋など、楽しいコーナー盛りだくさんのまつりを開催します。

スタンプラリー形式でガラポン抽選会も行います。

開催日時 令和7年2月11日(火)
13:00～16:00(入場受付15:30まで)

問合せ先 児童センターまつり実行委員会
(山澄児童センター) 電話 31 - 2557

HP: <http://www.sasebo-shakyo.or.jp/>

羽ばたけ児童センターまつり



しまびに児童センターがやってくる ～させぼっ子の遊び場『児童センター』展～



児童センターのことが一目でわかる展示会を開催します!

紹介パネルや利用児童製作品の展示、バンド演奏やダンス披露を催します。職員によるワークショップもあるよ!

開催日時 令和7年2月21日(火)～2月24日(月)
10:00～18:00(入館は17:30まで)
※ただし初日は14:00から、最終日は16:00まで

開催場所 佐世保市博物館
島瀬美術センター1階
フリースペース

問合せ先 最寄りの児童センター



民生委員・児童委員の改選にご協力ください

令和7年12月に、民生委員・児童委員が全国一斉に改選されます。

事前に地域の皆様へ候補者の推薦を依頼致します。ご協力をお願いします。

(民生委員の役割)

地域住民の皆様にとって身近な相談相手として、心配事や困りごとなどの相談に応じ、課題解決に向けて、適切な助言や情報提供を行うほか必要な支援への「つなぎ役」となります。

(選任基準)

佐世保市議会議員の選挙権を有し、人格識見が高く、広く社会の実情に通じ、社会福祉の推進に熱意のある人

(選任の方法)

町内代表者などで構成される地区推薦準備会から候補者を推薦していただき、市推薦会及び審議会の審査を経て、厚生労働大臣から委嘱されます。

(身分・任期)

非常勤特別職の地方公務員で、任期は3年です。児童福祉法による「児童委員」を兼務します。

現民生委員・児童委員は、令和7年11月30日をもって任期満了となります。

詳しくは、佐世保市役所保健福祉部保健福祉政策課(Tel.0956-24-1111 内線5514)までお尋ねください。

～善意のご芳志ありがとうございました～

(令和6年8月1日～令和6年10月31日)

濱田まゆみ様 (小佐々町臼ノ浦)	故・濱崎 豊 様 (小佐々町矢岳)	末永 亮子様 (小佐々町矢岳)
森 紀代子様 (小佐々町楠泊)	増本 重行様 (小佐々町楠泊)	故・朝長ミツ子様 (小佐々町楠泊)
故・淡田 幸枝様 (小佐々町黒石)	故・中川 篤次様 (吉井町橋口)	故・黒石 富子様 (江迎町上川内)
木下 雅博様 (江迎町長坂)	故・村山 弘治様 (鹿町町大屋)	一丸 政春様 (鹿町町鹿町)
堤田 イツ様 (宇久町平)	田上 秀子様 (宇久町平)	出崎 吉弥様 (宇久町平)
田中 利光様 (宇久町太田江)	藤枝富美子様 (宇久町神浦)	

株式会社 ケイアイ工業 様

令和6年11月1日以降にいただいた寄付のご芳名は、125号(2025年7月発行)に掲載させていただきます。

社会福祉協議会では、香典返しや募金などの一般寄付を受け付けております。これらの浄財はさまざまな福祉事業に活用させていただいております。

また、香典返しをご寄付いただいた方には、挨拶状(忌明け礼状)の印刷をしております(枚数は金額に応じます)。

くわしくは社会福祉協議会までお問い合わせください。

佐世保市社会福祉協議会 地域福祉課 公式SNSでは、社協の取り組みや研修会・講演会の様子、地域の福祉活動の紹介・発信を行っていきます。



sasebo_shakyo_chiiki

チャンネル登録&高評価👍よろしくお願いします



sasebo_shakyo_chiiki

チャンネル登録&いいね👍よろしくお願いします

Follow me!

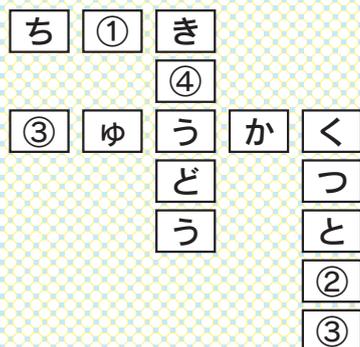
Instagram
フォロワー
100名達成!
ありがとう!



佐世保市社会福祉協議会
マスコットキャラクター させポン

Let's あだまのストレッチ

下のクロスワードを完成させ、①～④の文字を使ってできる言葉は何でしょう？



前回の答えは「きょういく」でした。いかがだったでしょうか？
クイズの答えは、誌面の中で出てきますので探してみてくださいね。



応募方法



- ・ハガキかメールに①郵便番号、住所 ②氏名 ③年齢 ④クイズの答え ⑤感想・ご意見を書いて佐世保市社会福祉協議会へご応募ください。
 - ・抽選で15名の方にQUOカード(1,000円分)をプレゼントいたします。
- なお、当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

締め切り 令和7年3月31日(月)必着



社会福祉法人
佐世保市社会福祉協議会

〒857-0028
佐世保市八幡町6-1

Tel:0956-23-3174(代) 0956-24-1695(直)
Fax:0956-22-0152

✉:chiiki@sasebo-shakyo.or.jp

